

孤独・孤立対策について

孤独・孤立の問題の現状及び講じてきた施策

○長引くコロナ禍の影響で、孤独・孤立の問題がより一層深刻な社会問題となっている。

- ・自殺者数(令和2年)：

【総数】	21,081人	(前年比912人増)
【女性】	7,026人	(前年比935人増)
【児童生徒】	499人	(前年比100人増で過去最多)
- ・DV相談件数(令和2年度)：19万0,030件(前年度の1.6倍)
- ・児童虐待相談対応件数(令和2年度)：20万5,029件(前年比1万1,249件増)
- ・完全失業者数(令和3年9月分)：192万人(令和3年6月まで17か月連続で対前年同月で増加、7月以降は改善の兆し)

➡孤独・孤立対策担当大臣が司令塔となり(令和3年2月～)、政府一体となって孤独・孤立対策を実施

- ・自殺防止・生活支援等に取り組むNPO等に約60億円の緊急支援を実施(3月)
- ・NPO等の現場の声を孤独・孤立対策に反映させるため、「孤独・孤立に関するフォーラム」を開催(2月に「緊急フォーラム」、6月以降「フォーラム」を8回開催)
- ・孤独・孤立対策に関する連絡調整会議の開催(3月～これまでに5回開催)
- ・こども向けホームページを新設し、適切な相談先へ案内する仕組みを導入(8月)

今後の基本的方向性及び具体的施策

➡孤独・孤立に悩む人を誰一人として取り残さない社会を目指す

<骨太方針2021を踏まえ、孤独・孤立対策に係る施策をさらに推進>

- 孤独・孤立に陥っても支援を求める声を上げやすい社会とする
 - ・孤独・孤立の実態を把握するための全国調査を実施し、年度内に結果公表
 - ・各種支援制度や相談先を案内するホームページ(一般向け)を11月に運用開始
- 孤独・孤立に陥った方を切れ目のない相談支援につなげる
 - ・電話・SNS相談の24時間対応の推進、相談支援に当たる人材の育成支援(予算要求)
- 人と人との「つながり」を実感できる地域づくりを推進する
 - ・子ども食堂、フードバンク活動の支援、子育て支援拠点など居場所の確保、地域における包括的支援体制を推進(予算要求)
- 孤独・孤立対策に取り組むNPO等の活動をきめ細かく支援し、官・民・NPO等の連携を強化する
 - ・NPO等の活動へのきめ細かな支援(予算要求)
 - ・NPO等との連携の基盤となるプラットフォームの形成(関係団体と調整中)

<具体的な施策を盛り込んだ「孤独・孤立対策の重点計画」の策定>

- ・これまでの施策からさらに強化すべき点を含め、NPO等関係者の意見も踏まえて検討し、重点計画を年内に取りまとめ